

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	健康を科学する眼と看護学
作成者（著者）	浅野, 美知恵
公開者	FD 委員会 研究推進検討会 (東邦大学健康科学部)
発行日	2019.12.01
ISSN	24343838
掲載情報	東邦大学健康科学ジャーナル. 2. p.1 1.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	巻頭言
著者版フラグ	publisher
メタデータのURL	https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD14245639

健康を科学する眼と看護学

学校法人東邦大学健康科学部
学部長 浅野美知恵

健康科学部看護学科では、「健康を科学する」、すなわち、健康の本質と健康支援の実践を探究する健康科学の視座から看護学を探究しています。この健康に焦点を当て科学するためには、人々の身近な暮らしに目を向けなくてはなりません。暮らしに目を向けることで科学する題材を得ることができるからです。

身近な暮らしの中から健康に関わる題材を科学することは、地域で暮らす生活者について理解することでもあり、看護の対象者を探究することでもあります。健康に関わる事象を観察し分析して、その結果を統合する、このような科学を積み上げていくことをとおして、事象を把握する力を身につけていきます。

一方、焦点を当て理解を深めた暮らしや生活者に関する内容を、健康支援や看護につなげます。このことは、別の見方をすれば、いかに生活者の視点に立つか、いかに対象者中心の質の高い看護を実践するか、ということにもつながります。科学者としての眼と看護専門家としての眼を併せもつ看護系大学の教員は、さらに、良い看護とは何か、良い看護職者であるとはどういうことか、という原点を確認しつつ、臨床研究や基礎研究につなげていきます。研究者であることは、多様な題材と向き合いますので、哲学を含む教養の豊かさも問われてくるようです。

暮らしを重視する看護学教育を実践している本学部では、個人の健康、集団としての家族の健康、地域全体の健康に関して、観察眼の発揮および研究成果との統合によって現実に即した看護実践への提案を試みています。

人生100年時代の到来というキャッチフレーズが広がっている今の時代に、健康科学および看護学はますます重要な役割を果たすでしょう。本研究会誌『健康科学ジャーナル』を、教育・研究成果の公表の場としてご活用いただき、新たな知見や技術の共有と、さらなる発展への契機に寄与していただければ幸いです。

本誌は、健康科学部の発展に向けて、定期的な発刊を目指していきます。広く健康科学分野における教育・研究をされている皆さまのご協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。